

【発表概要】

ちば千産技術（11技術）

題名	概要	発表者
ちば千産技術①【R07C-1-1】 3DMGターボ法バケ転圧管理システム	バックホウマシンガイダンスシステムとGNSS締固管理システムを融合させ、振動法面バケットの転圧秒数により、法面施工を整形から締固めまでをトータルで管理するシステム	新光重機株式会社
ちば千産技術②【R07C-1-2】 長寿命舗装用中温化アスファルト スーパーシナヤカファルト	「スーパーシナヤカファルト」を使用したアスファルト混合物は、混合物の製造温度を低減することで、合材製造時の重油消費量が削減され、二酸化炭素の排出を抑制できる。また、その混合物は疲労ひび割れに対する抵抗性を向上させると共に等価換算係数1.7と算定されるため、舗装の長寿命化が期待できる。	ニチレキ株式会社
ちば千産技術③【R07C-1-3】 L型擁壁 ザ・ウォールⅡ（耐震型）	ザ・ウォールⅡ（大地震対応型）は、個人の財産である宅地を安心安全に構築できる宅地用L型擁壁で、大規模地震動の水平震度kh=0.25に対応しています。 また、宅地用認定擁壁の中で唯一壁面を垂直に設置することができるため、最大限、土地の有効利用が可能です。	ベルテクス株式会社
ちば千産技術④【R07C-1-4】 ハレーサルト 高炉スラグ細骨材を用いた超高耐久性プレキャストコンクリート製品	セメントの一部に高炉スラグ微粉末を使用し、細骨材としてスラグ細骨材を100%用いて凍結融解抵抗性、塩化物イオン浸透抵抗性ならびに硫酸に対する抵抗性等を向上した超高耐久性プレキャストコンクリート製品。	ハレーサルト工業会
ちば千産技術⑤【R07C-1-5】 道路用PRC版	「道路用PRC版」は、弊社が開発した「高強度PRC版（NETIS:CB-020006）/港湾・空港で採用」を道路舗装版用に開発した製品・工法です。自動車の繰り返し荷重に対応した疲労度設計法を取り入れ、工場で製作された高品質なプレキャスト版です。“重交通路線において頻繁に補修している箇所”や、“交通規制が困難な交差点”、“急速施工が要求されるトンネル（内・出入口）やアンダーパス”等の耐久性（長寿命化）を求められている箇所でも多く採用されています。	株式会社ガイアート
ちば千産技術⑥【R07C-1-6】 延長床版システムプレキャスト工法	本工法は、橋梁橋台付近の環境悪化の抑制が目的です。構造は、「橋梁床版を土工部に延長する部材（延長床版）」と「床版のすべり面としての部材（底版）」で構成され、従来橋台部上に設置された伸縮継手を土工部に移設します。効果として1.橋台部付近で発生する振動、騒音の低減、2.橋台部背面土の沈下による段差抑制、3.通過車両の段差衝撃の緩和、4.遊間（伸縮継手）からの漏水抑制、5.快適な走行性、6.震災時の緊急車両の通行帯確保が、確認されている。（NETISで震災に役立った工法として選出された）	株式会社ガイアート
ちば千産技術⑦【R07C-1-7】 不良地盤検出システム ブルプロ-i	本技術は、従来、目視で行われてきたブルーフローリング試験を、3次元カメラ計測技術を用いてデジタル化し、地盤の変形を自動で判定可能としたシステムです。	株式会社NIPPO
ちば千産技術⑧【R07C-1-8】 緊急対策工『応急土石流ガード』	土砂災害発生後の応急対策としてJSIパッケージ（鋼製保護枠）と大型土のうを一体化した「緊急対策工」（恒久対策が完了するまで、保全対象の安全性を高め、応急的に2次被害を抑制）	JFE建材株式会社
ちば千産技術⑨【R07C-1-9】 カタマSP 鉄鋼スラグを用いた散水・転圧で固まる簡易舗装材	従来、管理用道路や作業道等の比較的車両交通量の少ない道路には、砕石敷き舗装や土系舗装等が用いられてきた。カタマ®SPIは、これらの代替舗装材料であり、鉄鋼スラグを原料として製造されていることから、適量の散水と重機による転圧を行うことで鉄鋼スラグ特有の潜在水硬性（水と反応して固まる性質）を発揮して徐々に固化が進行する。固化することにより、養生後は従来の材料と比較して密実で強固な舗装となり、品質が向上する。	日本製鉄株式会社
ちば千産技術⑩【R07C-1-10】 ジオタイザー 軟弱地盤改良用石灰系粒度調整材	従来、安定処理工、路床改良工にはセメント・石灰系固化材が用いられてきた。軟弱地盤改良材「ジオタイザー®」は鉄鋼スラグを原料とした石灰系粒度調整材であり、従来のセメント・石灰系固化材が粉体であるのに対し粒状材料であることを特徴とする。このため、施工性が良く粉塵がたたない、バラ材で運搬・保管が出来るので取り扱いが容易であり、また、材料費が安価となるので建設コスト縮減により経済性向上が図れる。	日本製鉄株式会社
ちば千産技術⑪【R07C-1-11】 タイエンダーシステム 鉄・非鉄金属用 塩害環境向け高遮断塗装システム	四方を海に囲まれ、四季を有する日本において、海からの飛来塩分や冬季に道路散布される凍結防止剤など、鋼構造物の早期腐食の原因となる“塩害”への対策が課題となります。「タイエンダーシステム」は、腐食性物質の遮断効果に優れ、従来品の3倍以上（当社比）の耐塩害性を有することから、塩害が特に厳しい地域＝重塩害環境下にある金属素材を腐食から保護します。更に、低温での硬化乾燥性や幅広い素地適正を有しており、幅広い環境下でお使い頂けます。	大日本塗料株式会社

【発表概要】

生産性向上技術（1技術）

題名	概要	発表者
生産性向上① 橋梁点検支援ロボット「視る・診る」	本技術は、橋梁点検車の使用が困難な橋梁の定期点検作業を支援するもので、吊り足場、大型点検車及びロープアクセス等の特殊点検方法に比べて低コストで提供が可能。点検は橋面上にベース台車を設置し、桁下に水平アームを挿入しカメラ等の機械操作は橋面上でおこなう。水平アームに搭載された高精細ビデオカメラによる近接撮影による損傷状況の確認と静止画の取得が可能。必要に応じてひびわれ幅の測定、打音調査作業をおこなう（視る診るミニには打音調査機能は搭載されていない）通常点検と異なり点検作業員が桁下に入ることがないため安全性が向上する。本技術は国土交通省が公表している点検支援技術性能カタログ（案）に掲載された技術である。	ジビル調査設計株式会社